

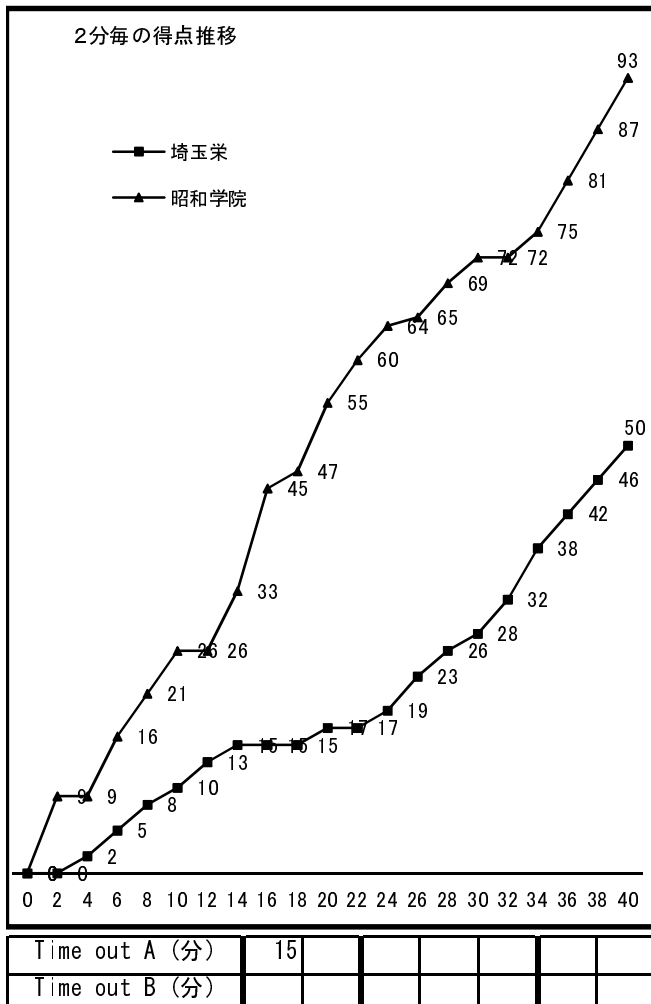
平成26年度 第25回 関東高等学校バスケットボール新人大会

女子2回戦		平成27年2月7日(土)		ALSOKぐんまアリーナ		大会1日目		Cコート		第6試合17:00~																		
〈Aチーム〉			<table border="0"> <tr> <td rowspan="5" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">50</td> <td rowspan="5" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>10</td><td>-</td><td>26</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>-</td><td>29</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>-</td><td>17</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>-</td><td>21</td> </tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table>						50	}	10	-	26	7	-	29	11	-	17	22	-	21	-	-	-	〈Bチーム〉		
50	}	10	-	26																								
		7	-	29																								
		11	-	17																								
		22	-	21																								
		-	-	-																								
埼玉栄 (埼玉)			93						昭和学院 (千葉)																			
主審		星野 由貴		副審		園田 裕之																						

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	渡邊 あゆみ	8		2	4	4
◎	5	古川 夢子	13	1	5		5
◎	6	佐々木 春奈					1
○	7	馬場 なな子	4	1		1	1
○	8	島田 茜	2			2	1
	9	中屋 明					
	10	福岡 ほの香					
◎	11	梶原 理奈					5
○	12	梅津 ななみ	2		1		
◎	13	弘重 綾野	15	1	5	2	3
○	14	飯沼 七海	2		1		
○	15	上澤 瑛	2		1		
○	16	木村 萌花					
○	17	山岸 奈々	2		1		1
	18	中島 伶那					
コーチ			一ノ瀬 和之				
			50	3	16	9	21

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	荻野 あかり					
◎	5	中村 美羽	6		3		2
○	6	小野尾 梨紗	10	1	3	1	
◎	7	山本 由真	8		4		1
◎	8	赤穂 ひまわり	16	1	4	5	1
◎	9	山本 加奈子	17	3	3	2	3
○	10	安藤 礼乃	5		2	1	
○	11	田中 咲弥	6	1	1	1	1
○	12	石川 菊理	2		1		
○	13	清水 南洋	4		2		3
◎	14	笠置 晴菜	6	2			
○	15	小島 彩	3		1	1	
○	16	齋藤 絢					1
○	17	篠原 由梨香	3	1			
○	18	鎌田 理彩子	7	1	1	2	1
コーチ			鈴木 親光				
			93	10	25	13	13

◎:スターター ○出場 3P:3点シュート(本数) 2P:2点シュート(本数) FT:フリースロー(本数) Foul:パーソナルファウル



戦評 | 記入者: 亀井 紫布里

両者ともにマンツーマンディフェンスでスタート。序盤から昭和学院は#5中村、#8赤穂の高さを活かした攻撃で優位にゲームを進める。#8は攻めてはカットインプレイやリング下シュート、さらには3Pシュートも決め、リバウンドやブロックショットでもチームを助ける活躍をする。さらに#9山本が前半で3本の3Pシュートを決めるなど、圧倒的な攻撃力をみせる。一方、埼玉栄は相手の高さに機動力で対抗しようと試みる。#4渡邊のカットインプレイや速攻での得点で応戦するも、昭和学院の堅い守りに阻まれ得点が続かない。前半は昭和学院38点リードで折り返す。

後半に入り、昭和学院はスターターを休ませベンチメンバーを起用する。埼玉栄も#13弘重を筆頭に、最後まであきらめずに戦うも前半のビハインドを縮めることができない。終始昭和学院のペースで試合が進み、93-50で昭和学院が快勝し準決勝へ駒を進めた。